



東日本教区

教区ニュース

E-MAIL:comm.ejpn@gmail.com Phone:03-3433-0987 Fax:03-3433-8678

2026年9月6日

日本聖公会東日本教区
東京都港区芝公園3-6-18
発行：旧北関東教区文書部
旧東京教区広報委員会

◇代祷・信施奉献先（9月）

▽山谷兄弟の家伝道所まりや食堂の働きのため▽心臓病児保育活動のため▽「こども食堂」の活動支援のため▽カパティランの働きのため

◇東日本教区第2（臨時）教区会報告（8月29日）

聖アンデレ主教座聖堂ならびに聖アンデレホールにて、第2（臨時）教区会が開催されました。13時より開会聖餐式が行われ、集められた献金は「聖公会モンゴルの森プロジェクト」へと送られました。

会議では報告事項はなく、上程された3つの議案第1号議案「日本聖公会東日本教区施行規則」（案）を承認する件、第2号議案 東日本教区事務所総主事任命承認の件、第3号議案 監事指名承認の件について審議がなされ、すべて可決承認されました。これに伴い、教区事務所総主事に前澤弘之さん、監事に清水慶三郎さん、谷川 誠さん、中井 修さんが任につかれることとなりました。また、議案審議に引き続き「主教選挙に向けて考える会」が催されました。長谷川主教から東北教区における主教選挙のご経験をうかがい、その後、意見交換の時をもちました。

◇常置委員会報告（8月29日）

協議事項

- ・諮問委員会委員長、常設委員会委員長の推薦について
- ・臨時教区会について

▽下町教会グループ 聖書の会

いずれも予約は不要です。時間になったらおいで（入室）ください。

下町以外からのご参加も多数あります。皆様のご参加をお待ちしています。

LINE 登録のおすすめ

毎週土曜日教区ニュースが
お手元に届きます。友達登録
をお願いします。



1）下町聖書の会（対面）

日時：9月11日（金）、9月25日（金）10時半（対面）

場所：神田キリスト教会

*「ヤコブの手紙」を少しずつ読み進めています。

2）下町聖書の会（ZOOM）

日時：9月11日（金）19時～20時半

*次の主日の福音書を分かち合います。

<https://us02web.zoom.us/j/83272012369?pwd=g6g0RTNvgiOSr7ZgGihFMXahqNEaNL.1>

ミーティング ID: 832 7201 2369

パスコード：658245

今週・来週の予定

9月6日～19日

- | | |
|-------------|-----------------------------------|
| 6（日） | 聖霊降臨後第15主日 |
| 7（月） | 分担金部会（教区事務所） |
| 8（火） | 共育プロジェクト（教区事務所） |
| 9（水） | 礼拝音楽委員会（Web） |
| 10（木） | 合同聖職養成委員会（Web）
給与検討小委員会（教区事務所） |
| 13（日） | 聖霊降臨後第16主日 |
| 16（水） | 旧東京教区教役者逝去者記念聖餐式
（聖アンデレ主教座聖堂） |
| 17（木） | 下町教会 G 牧師協議会（聖ルカ） |
| 18（金）～23（水） | 小笠原青年の旅2026（小笠原聖ジョージ） |

▽神田キリスト教会 ランチタイムパイプオルガンコンサート

日時：9月16日（水）12時20分～50分

演奏：一之瀬麻友美・佐藤真理

入場無料

▽山手教会グループ講演会

聖書の写本 ―パピルスと羊皮紙で受け継がれた信仰―

聖書が書き写された歴史についての講演と実際にパピルスなどに葦ペンで文字を書いてみるワークショップを行います

日時：9月20日（日）14時～15時30分

場所：東京聖三一教会 1階ホール

講演会：山野貴彦さん（聖公会神学院専任教員東京聖三一教会員）

主催：山手教会グループ協議会

▽夕の黙想会

「聖書から見る茶の道・茶の道から見る聖書」

日時：9月24日（木）19時

場所：インマヌエル新生教会

案内役：高橋宏幸主教（聖パウロ教会）

聖書と侘茶との関係は、以前から研究がなされています。

古く16世紀、宣教師たちから茶の湯に関する報告がローマに報告されています。聖書のメッセージと侘茶の精神とに心を寄せながら、私たちの霊性を探ってみたいと思います。

▽浅草聖ヨハネ教会宣教150周年記念感謝礼拝

1876年、江戸監督C.M ウイリアムズ主教のもと、下町・浅草界隈の関係者の尽力によってはじめられた働きが、宣教開始150周年（教会創立135年）を迎えることができました。

ご一緒にお祈り下されば幸いです。

日時：9月26日（土）10時半

司式：長谷川清純主教（管理主教）

説教：高橋宏幸主教

※どなたでもおいでいただけます。（事前申込不要）

▽聖職養成委員会「召命黙想会」のご案内

日程：10月11日（日）15時～12日（月・休）16時半

場所：汚れなきマリア修道会 町田修道院

（東京都町田市）

講師：成 成鍾司祭

参加費：3,000円

定員：10名（申込多数の場合は初回の方を優先します）

申込み締切り：10月4日（日）※郵送あるいはファックスにて。

聖職に召される「望み」をお持ちの方を対象とした黙想会です。

詳細は、各教会・礼拝堂にチラシを配布してありますので、ご覧ください。

▽2026 ふれあいキャンプ

日時：10月11（日）16時～12日（月・休）16時

場所：日本聖公会「ナザレの家」（東京都三鷹市牟礼4-22-30）

参加費（1泊3食付き）：大人5,500円（部分参加有）

申込書にご記入ください。

主催：「障がい者」関連活動連絡会（略称：障関連）

申込締切：10月4日（日）

申込先：障関連 鶴飼良機 電話・FAX 03-6205-5531 mail:byukai316@gmail.com

現地集合・現地解散

チラシまたはHPを参照してください。 <https://nssk.org/tokyo/skren/index.html>

◆旧東京教区教役者逝去者記念聖餐式

*聖アンデレ教会 HP よりライブ配信します。

<http://www.st-andrew-tokyo.com/web/>

日時：9月16日（水）10時半

場所：聖アンデレ主教座聖堂

説教者：執事 高柳章江

▽執事 横山 錦柵▽司祭 今井 直道▽司祭 今井 寿道
▽伝道師 小川 英子▽主教 名出 保太郎▽司祭 リチャード・A・メリット▽伝道師 山元セン▽司祭 佐々木 厚▽執事 堀 正義▽司祭 須貝 隆▽主教 竹田 眞▽司祭 松平 惟太郎▽司祭 白井 敏之▽司祭 伊東 祐▽伝道師 大嶽 菊三郎▽司祭 小笠原 忍▽司祭 石黒 千秋▽司祭 松本 文▽司祭 巽 芳三郎▽司祭 菅 円吉▽

伝道師 高橋 菊代▽宣教師 メアリー・L・セントジョ
ン▽司祭 志賀 清光▽司祭 根岸 卯太郎▽伝道師 田中
利堅▽主教 野瀬 秀敏

【小山墓地 秋季逝去者記念礼拝中止】

例年 9 月下旬に行われておりました、東日本教区
小山墓地（旧北関東教区墓地）秋季逝去者記念礼拝
は、現在小山祈りの家集会所増築工事のため礼拝堂
が停電しており、トイレも使えないため中止といた
します。集会所落成は 12 月以降を予定しております。
なお、個々の墓参に支障はございません。

【聖ルカ礼拝堂 夕の祈り終了のお知らせ】

毎月第一日曜日 17 時からの「夕の祈り」は 2026
年 7 月をもって終了いたしました。予定しておりま
した 9 月 6 日（日）につきましても中止となります。

「いのちの水」聖句：エゼキエル 47：9,12

「創造の季節 (season of creation)」は、毎年 9 月 1 日から 10 月 4 日（アッシジの聖フランシスの祝日）
にかけて、キリスト者が教派を超えて、神の創造の業と被造物へ感謝し、また
その回復のため共に祈り、行動する期間として世界中で祝われています。



<カンタベリー大主教の呼びかけ>

「被造物の季節 (season of creation)」にあたり、私たちは改めてキリストに
目を向けます。万物はキリストによって造られ、キリストにあって保たれているからです。キ
リストの受肉と死、そして復活に現された神の愛は、人類のみならず、神がお造りになったす
べての被造物に対して示されました。

キリストに従って生きる私たちにとって、被造物を守る（保全する）ことは信仰の根源的なあ
り方であり、教会の宣教の使命における大切な証しでもあります。その使命とは、被造物の本
来の姿を守り、地球の生命を維持・再生するために努力すること（宣教の 5 指標 - 5）です。

キリストに従う者として、私たちはキリストによる和解のみわざを分かち合うよう招かれてい
ます。この地球と、そこに生きるすべてのもののために、正義と癒やし、そして希望を求めて
歩んでいきましょう。

カンタベリー大主教

サラ・ムラリー

（このメッセージは” season of creation celebration guide” からとったものです）

<https://www.anglicancommunion.org/campaign/season-of-creation/>

旅人よ 仰ぎ見よ

東日本教区管理主教
主教 フランシス 長谷川 清純

皆さまに主の平和がありますように！

5 月 23 日、東日本教区第 1（定期）教区会を開き、新教区発足をお互いに喜び合ってから、早や 3 ヶ月が経ちました。この間、私たちは憂いと惑いの中にあっても、主への揺るぎない信仰を持って教会生活を続けております。

私は、新教区にとりまして、毎日が試練の日々と言って過言ではないと思っています。いわば、主イエスの 40 日 40 夜にわたる誘惑を受けられた、その荒野に私たちもいると言えるかもしれません。あるいは、ガリラヤ湖に浮かんで、嵐に行き悩んでいる一艘の舟のようだと言えるかもしれません。あるいはまた、私の足下を見てしまうと、その途端に沈みかけるペテロのようだとも言えるかもしれません。

しかし、行き悩む人々よ、主に立ち返れ！です。

野獣もいて誘惑されますが、そこでも天使が仕えていると、イエスが知らせています。舟にイエスが乗り込まれてご一緒していると分かると、嵐になると知らせています。水の中に沈もうとする、正にその刹那、イエスが手を伸ばし、驚愕に引き上げてくださるとイエス自ら知らせてくださっております。

私たちは、まさにそのような圧倒的な救いのみ業の中で息している者たちです。聖歌 479 番は謳います。「道に行きくれし 旅人よ 仰ぎ 恵みのみ神の み言葉を聞けや」。神を仰ぎ見つ、神のみ言葉を聞きつつ、行くのです。「心しずめて み力にたよれ」、「望みの光の さし来るを待てや」、そうすれば、「憩いて楽しむ 朝は間近し」です。

希望とは、まだ見ぬ夢が待ち受けているという期待でもあります。信じて疑わず、主に拠り頼むことが希望です。

新教区が動き出して行くには、課題が山積しています。しかし、それは神の国の実現のために、克服されるために、私たちの眼前に置かれているもののようです。それは、神様の計り知れないご計画に違いありません。

私たちは、「心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛する」とき、神の国に生きています。「心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして神を愛し、また隣人を自分のように愛する」ならば、もはや神の憐れみと、深い慈悲を身に受けています。

私たち東日本教区の歩みは、今は非常に心細いものではございますが、その歩みに空白を生じさせないようにと常置委員会ははじめ、みなが一生懸命にご奉仕して下さっております。どうか、神様からの知恵と光が与えられて、聖霊の豊かなお導きによって本教区会が前に進められて、主の御心に叶いますようにお祈り申し上げます。

栄光在主＋